

愛知大学法学部

法經論集

第181号

 研究ノート

- フランス生命倫理法に見る胚および
 胚性幹細胞（ES細胞）研究をめぐる法的課題
 ——生物医学機構「2004年8月6日の生命倫理法の
 適用の総括」報告書をもとに——
 小林真紀 1

判例批評

- フランチャイズ契約締結準備段階においてフランチャイズ本部が
 提供した売上収益予測が不合理であったとされた事例
 木村義和 29

判例研究

- イラク派兵訴訟岡山地裁判決と平和的生存権
 小林武 59

翻 訳

- ヨルク・バウル・ミュラー『スイス基本権原論』（一二）
 小林武 102

法学会記事

 2009年8月

愛知大学法学会